

転入者増へ 都心で働く女性向けフリーペーパー「シティリビング東京」に 市の移住PR広告を2号連載(10月24日号、11月28日号)

9年連続で転入者数が転出者数を上回る社会増が続く中、さらなる転入者の獲得に向けて、都心の企業で働く女性向けフリーペーパー「シティリビング東京」に移住PR広告を初めて連載します。

10月24日号では、移住者インタビューで、都内からの住み替えて暮らしにゆとりが生まれたことや、移住先を探し始めてからお試し移住、マイホームの実現までのステップを詳しく掲載。また、我孫子で暮らす4つのメリットを数値で比較

するとともに、都心エリアへ通勤1時間圏内にある住宅地価の比較を掲載し、我孫子ならば都心へのアクセスの良さを諦めずにマイホームが持てることを紹介しています。さらに、ドラマのロケ地にもなった手賀沼の写真を掲載し、都心から一番近い天然湖沼「手賀沼」の畔で、ゆったり暮らせる市の魅力をアピールしています。

初の連載となる11月28日号は、市内東部エリアとJR成田線沿線に特化した移住情報を掲載します。子育て世帯の予算に合わせた選択肢の中で、のびのびとした充実ライフが実現できる市の特徴を、2回連載の移住PR広告を通じて都心のオフィスで働く女性に向けてPRします。



フリーペーパー「シティリビング東京」 10月24日号と11月28日号に連載

発行数：約12万部

配布場所：千代田・中央・港区など都心3区中心の都内約5,200オフィス

サイズ：タブロイド判16ページ(市の広告：10月24日号2ページ、11月28日号1ページ)

※市のPR情報は、シティリビング東京WEBでもご覧いただけます

<https://city.living.jp/r-tokyo/>

【内容の一部を紹介】

◎我孫子で暮らす4つのメリット

1. 犯罪件数の少ない安心安全な街

県内の人口10万人以上の17自治体中、犯罪件数の少なさトップの我孫子市。「子どもみまもり隊」はじめ、防犯活動に力を入れており、安心して子育てができます。

2. 子育て世代に選ばれる街、9年連続で転入超過

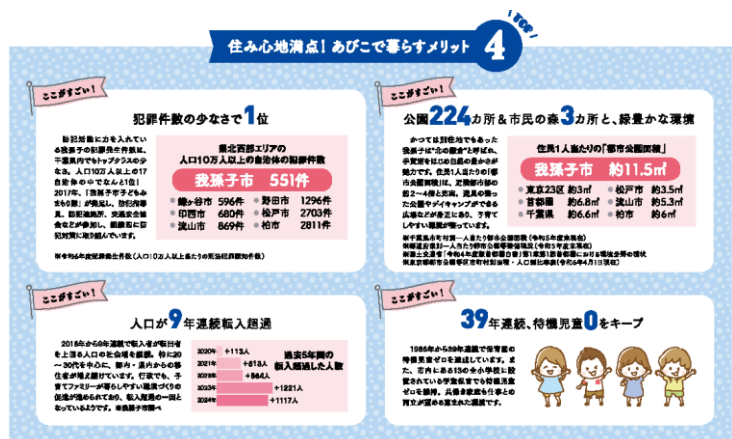
2016年から9年連続で転入者が転出者を上回る人口の社会増を継続。20代から30代を中心に、都内・県内からの移住者が目立ちます。

3. 広い! 多い! 公園でのびのび子育て

住民1人当たりの都市公園面積は、都内や近隣都市部と比較して「最大4倍」と充実。豊富な遊具が揃った公園やデイキャンプ可能な広場もあり、近所で毎日散歩ができます。

4. 39年連続、待機児童0!

1986年から39年連続で待機児童ゼロを達成。共働きの子育て世帯も安心の環境です。



◎都内から移住した家族のインタビュー 伊藤さんファミリー（2021年に新宿区から移住）

自然豊かな地で子育てをしたいと考えた伊藤さんは、都心から1時間圏内の移住先を探し、手賀沼や周辺の自然に魅力を感じて我孫子市に移住を決めました。賃貸物件でのお試し移住を経て、2024年に戸建てを新築しました。

STEP 1
リサーチ

通勤1時間の範囲と豊かな自然を条件に

神奈川、東京、千葉を中心にリサーチしました。豊かな自然で知られる鎌倉や逗子、都内は小金井辺り、千葉は北西部から沿岸エリアまでくまなくチェック。自然の豊かさや利便性、通勤電車の混雑状況などから、我孫子を選びました。

STEP 2
お試し移住

駅近の賃貸マンションで住み心地を実際に体験

手賀沼や自然の豊かさや惹かれたものの、いきなり戸建てで新築はせず、お試しで賃貸マンションを探しました。我孫子駅近くの物件が出たのですぐに引っ越し。実際に暮らして、生活の便利さや出会う方々の穏やかさに触れ、移住を決めました。

STEP 3
マイホーム新築

手賀沼に近いエリアで理想の一戸建てを実現

子育ては戸建てで!と思っていたところ、手賀沼近くで理想の土地を見つけたので即決。我孫子は、土地購入・一戸建て新築を、都市部に比べればリーズナブルな負担で実現できます。週末には子どもたちと庭いじりやBBQを楽しんでいます。

伊藤さんファミリー

【問い合わせ】

我孫子市 企画総務部 秘書広報課
 あびこの魅力発信室
 担当: 深田、奈良
 電話: 04-7185-2493 (直通)